人文研＝全伯日系団体の実態調査＝全437団体、６割しっかり活動＝（下）＝97％が「日本人の血」に誇り

Classificação das Associações

「自分のルーツを探す旅のような調査だった」とかたる調査員のみなさん

人文研調査によれば、会館を所有する団体は９０％に上り、過去５年間で改修・増築工事したのは６２％。所有する土地の合計はなんと１９０２万平米で、サンカエターノ市（１５３３万平米）より広い。うち建築面積は５５万平米で、平均だと１５６８平米だった。単純計算すると３１メートル×５０メートルで１５５０平米だから、かなり大きな会館が多いようだ。その結果、地方部だと「市で唯一の文化施設になっているところも多い」という。

会議で使う言葉は８０％がポ語で圧倒的。今も日本語は７％と少数派、両方が１３％だった。日本語学校がある団体は１３９だった半面、「過去あった」ところは１９３もあり、日本語が無くなる流れは残酷にも鮮明だ。また、７０％の団体には婦人部があったが、７８％には青年部がなかった。将来性の部分で疑問が生まれる数字だ。

「あなたは日本人の血を持っていることに誇りを感じますか？」との質問に「はい」と答えた割合は、一世で９７％、二世で９６％、三世で９８％、四世で９８％、平均は９７％。「世代を問わず、ほぼ全員が誇りを持っていることが分かった」という。

会費は「無料」が５６団体（１４％）、１～１２０レアルが１２２（３０％）、１２１～６００レアルが２０３（５０％）と最も多かった。なお６０１レアル以上が２７（６％）もあった。

「自分がコロニアの一部だと思いますか」との質問に「はい」と答えたのは、一世が９３％、二世が７８％、三世が７２％、四世が